

# 図書だより 2月

今月の目標!

◇じっくり最後まで読み通そう  
令和6年2月号



## 本を最後までじっくり読み通そう



授業で図書館を利用するとき、とても静かに集中して読書をしている学年があります。  
授業終わりのチャイムが鳴っても気がつかないぐらい夢中で本を読んでいるお友達もいます。  
みなさんは本をじっくり最後まで読んだことがありますか？  
齋藤孝さんの本『頭がよくなる すごい! 読書術』から、読書のアドバイスをお伝えします。

### ① 読書の楽しさは10冊読んでから?

はじめはヨロヨロしか乗れなかった自転車も、練習するうちにスイスイ乗れるようになるよね。  
本も同じ。何冊も読むうちに楽に読めるようになります。

### ② 読書はスピードが大切!

はじめの10冊を読むときは内容がかんたんでうすい本でもOK! どんどん読もう!  
つきぬけるように読むことを「読破」と言うよ。意味は最後まで読み切るとのこと。



### ③ 図書館を上手に利用しよう!

図書館にはいっぱい本があるね。  
興味のはばをせばめないためにも、なんでもいいから手に取ってみよう!  
パラパラ見てちょっとでも読んでみようかなと思ったらとにかく読んでみてね。



### ④ 自分だけの本だなを持とう!

きみだけの本ななは、きみの読書の歴史であり、吸収した知識を目に見える形にしたものだよ。

### ⑤ 新しい本を手に入れよう!

本を読んで日本語力をきたえれば、勉強も仕事もできるようになります。  
買ってもらった本を読み終わったら、どんなところがおもしろかったかおうちの人に報告しよう!

### ⑥ チラ読みで見きわめよう!

本を選ぶのに迷ったときはチラ読みしてみよう。1ページくらいためしに読んでみる。  
5冊か10冊くらいチラ読みして決めるといいよ! 試食してから買うようなイメージだね。

### ⑦ 芋づる式で本を見つける!

「作者芋づる式読書」=気に入った本があれば、同じ作者(本を書いた人)の本を次々読んでみる。  
「話の種類芋づる式読書」=こわい話、冒険もの、恋バナなど好きな内容の本を読んでみる。  
小学生のうちに、読みたい本と出会い、本の世界を楽しむコツをぜひ見つけてください。